

London 2012

かんたん! 車いすテニス ガイド



公益財団法人
日本障がい者スポーツ協会

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6
ユニゾ水天宮ビル3階

[TEL] 03-5939-7021

[FAX] 03-5641-1213

[HP] <https://www.jsad.or.jp/>

[FB] <https://www.facebook.com/jpsasports>

2020年3月 発行

●障がい者スポーツの情報や動画は
日本障がい者スポーツ協会HPへ



●最新情報を随時更新中!
日本障がい者スポーツ協会FBへ



車いすテニスとは？

車いすに乗って行うテニス。
ラケットを持った状態で巧みに車いすを操作します。
正確で力強いサービス、激しく打ち合うラリーなど
テニスの魅力が存分に味わえる競技です。



車いすテニスは1970年代に始まり、パラリンピックでは1992年のバルセロナ大会から正式競技に採用されています。

一部のルールを除いては、使用するコート、ネットの高さ、ボールと、一般のテニスと変わりはありません。

現在では、名だたる国際テニス大会の中に車いす部門があるなど、世界的に知名度の高いスポーツです。

Contents

競技の概要

3

クラス分け

5

主なルールと使用するコート

7

競技用車いす

9

Column

- ◆ 車いすならではのプレスタイル 11
- ◆ さまざまな車いすテニスの大会 13
- ◆ もっと車いすテニスを知りたい! 14

日本障がい者スポーツ協会公式YouTube



ジャパンパラをはじめ
障がい者スポーツ動画が
充実!



<https://www.youtube.com/user/jsadchannel>

一般社団法人日本車いすテニス協会



車いすテニスの
最新情報はコチラ



<http://jwta.jp/>

競技の概要

基本的には国際テニス連盟 (ITF) のルールに則って競技が行われます。使用するコートやネットの高さ、用具 (ラケット、ボール) も同じです。

ただし、障がいや車いすを使用することによってゲーム性が損なわれてしまう部分を考慮し、「2バウンド以内に返球可能」など、ルールを一部変更しています。

また大会では障がいの種類や程度によって「クラス分け」が行われ、男子、女子、クアードの3クラスで順位が競われています (クラス分けについてはP5参照)。



パラリンピックでは3セット制で先に2セットを先取した選手の勝利になります



ラケットを手に持った状態でのチェアワークも勝敗を分けるポイントです

種目について

一般のテニス同様、種目としてはシングルス戦とダブルス戦が行われます。

男子シングルス



男子ダブルス



女子シングルス



女子ダブルス



クアードシングルス



クアードダブルス

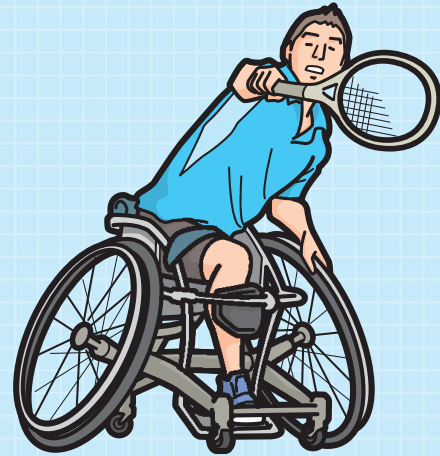


クラス分け

大会では性別や障がいの種類や程度によって分けられた3つのクラスごとに試合が行われます。

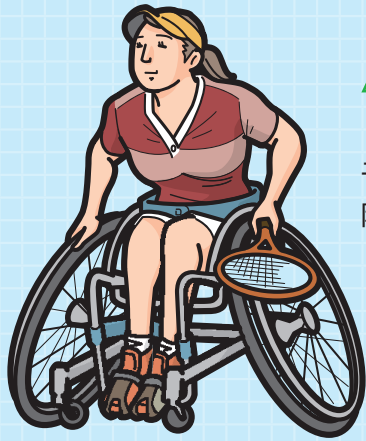
男子

下肢に障がいがあり、車いすを使用する男子選手のクラス。脊髄損傷、下肢切断など障がいの種類はさまざまです。



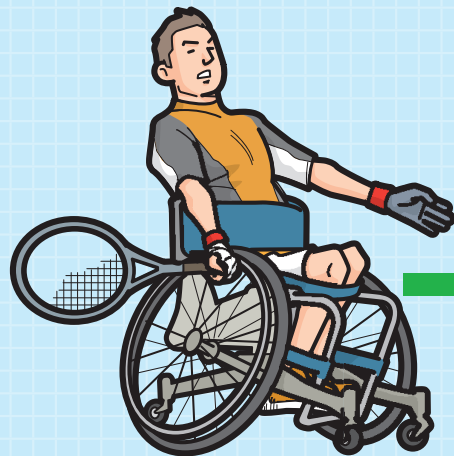
女子

下肢に障がいがあり、車いすを使用する女子選手のクラス。男子同様、出場する選手の障がいの種類は脊髄損傷、下肢切断などです。



クアード

下肢だけでなく、まひなど上肢にも障がいのある比較的障がいの重い選手が出場するクラス。握力を補うためにラケットと手をテープで巻いて固定することが認められています。



クアードとは？

クアードとは、英語で四肢（両腕と両脚）まひを意味する「Quadriplegia」（クアードリプリジア）の略称。大会では男女混合で試合が行われます。



試合前にテーピングで手とラケットを巻き付けて固定させる選手

三肢を切断している選手もクアードクラスでプレーします



ダブルスでは男女でペアを組むことができます



車いすを操作することが難しい選手は電動車いすを使用します



主なルールと使用するコート

車いすテニスのルールや使用されるコートは一般のテニスとほとんど同じ。大きく異なるルールは、2バウンド以内の返球が認められていることです。

ベースライン

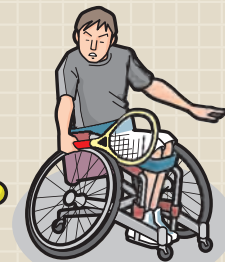
センターマーク

8.23m

10.97m

ダブルス戦のサイドライン

シングルス戦のサイドライン



2バウンド目は
コートの外側でもOK!

23.77m

車いす操作のルール

打球の際、臀部を浮かしたり、足を使ってのブレーキや方向転換などの操作することや地面に足をつけることは禁止されています（ただし、車輪を使い車いすを操作できない場合のみ、片足を使用して操作することが認められている）。

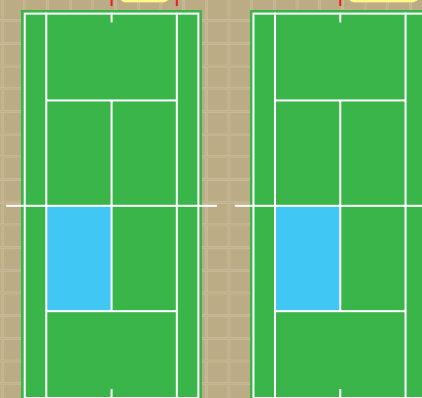
サービスを打つ際のルール

- サービスを始める直前に、サーバーは静止しなくてはならない。サーバーはその後ボールを打つ前に車いすをひと漕ぎして動いてもよい。
- サービス中は全ての車輪もベースラインやセンターマークとサイドラインの仮想延長線上に触れてはならない（右図参照）。

- サービスを打つエリア
- 打ったサービスが1回目にバウンドするエリア

シングルス
の場合

ダブルス
の場合

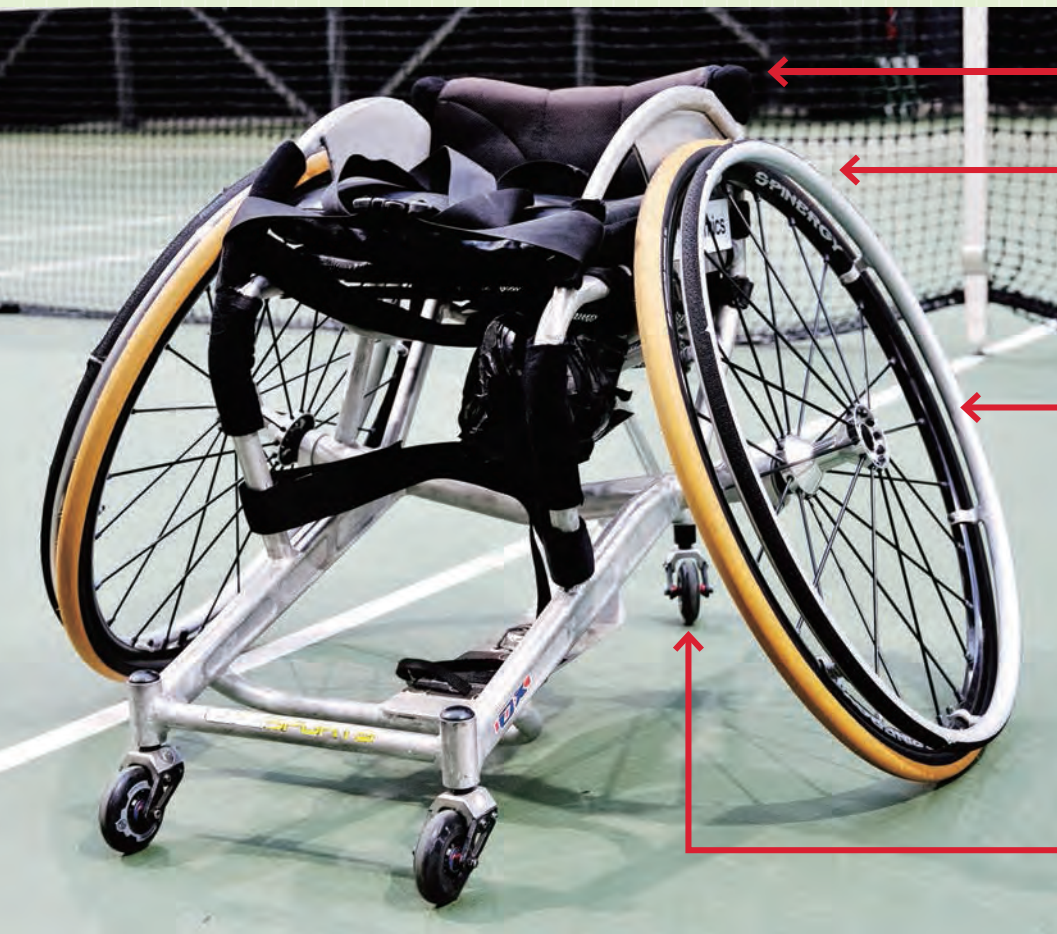


サイドラインの仮想延長線

※自コートの右側からサービスを打つ場合

競技用車いす

選手たちが使用する車いすは競技専用で作られたもの。車いすに乗った状態でプレーがしやすいようにさまざまな工夫が見られます。トップ選手の車いすはシートの厚さや高さ、タイヤの角度など、選手の体格に合わせてオーダーメイドされています。



車椅子バスケットボールなどとは異なり、基本的に選手同士の接触はないため、バンパーは付いていません。

一般的な車いす

背もたれが高く寄りかかりやすく、ひじ置きや介助者が押すためのグリップが取り付けられています。逆に競技用車いすはそのようなものはなく、不要な部分はそぎ落とされて競技のために改良されていることがわかります



上半身を自由に動かせるように背もたれはありません。



ハンドリムを回して車いすを走らせます。



タイヤは角度をつけて装着していて、「ハの字」型になっています。タイヤを傾けることで、車いすの回転性能が上がり、素早いターンが可能になります。



バランスを崩して倒れないよう転倒防止用のキャスターを装着。

車いすならではのプレースタイル

ルールもコートもテニスとほとんど同じの車いすテニスですが、最大の違いは「車いすを使用すること」。そこで、車いすテニスならではの工夫やプレースタイルをご紹介します。

1 残されたものをいかして用具を使いこなす!

クアードクラスの中で特に障がいの重い選手は自力で車いすを操作することが難しく、電動車いすを使用してプレーします。



電動車いすを操作するのは手元にあるジョイスティック型のコントローラー。ジョイスティックを倒す方向と角度で動きを制御しますが、選手たちはまるで自分の身体の一部のごとく使いこなします。



電動車いすを使用するニコラス・テイラー選手（アメリカ）が打つサービスは独特。ルール上、クアードの選手は通常の方法でサービスを行えない場合、地面にバウンドさせたり他者がボールをトスして打つことが認められています。しかし、テイラー選手は脚で器用にボールを蹴り上げ、電動車いすの反動も利用しつつ打球します。その発想力と実際の試合でその打法を使いこなすことができるまで磨き上げたテクニックに脱帽です。



2 予測と駆引きがラリーを制する?

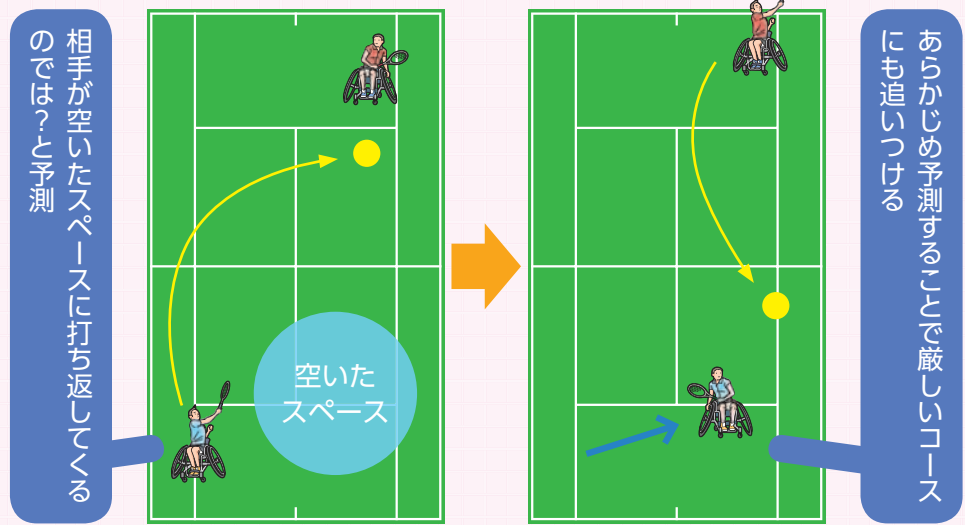
車いすの操作で難しいのは方向転換。例えば、車いすが右を向いて動いている状態から左側に向かって動き出すのは、車いすの特性上、タイヤの向きを変えなければいけないのでなかなかスムーズにはいきません。しかし、対戦相手は左右に様々な角度のボールを打ってきます。それを車いすに乗った状態で対処するのは、至難の業と言えます。

要なのが、相手が打ち返してくる場所を予測して準備することです。

そこで選手たちは、自分がボールを打ち返した瞬間、コート中央に戻り、相手がどこにボールを打っても対応できるように準備をします。しかし、それでも相手の返球によっては追いつくことができず、相手にポイントを奪われてしまうこともあります。そこで重

返ってくるコースを予測することで、動き出しを早くして厳しいコースに来たボールにも追いつくことができるのです。トップ選手になると、相手が打つよりも先に打球が来ると予測したスペースに動き出すこともあるほどです。

もちろん、相手選手に簡単にボールに追いつかせるわけにはいきません。返しやすい位置に何回か打った後に、突然厳しいコースに打つなどの駆引きもしてきます。お互いに予測を働かせ、将棋のように数手先を読みながらプレーします。選手たちはただ打ち合っているのではなく、その裏では激しい頭脳戦が繰り広げられているのです。



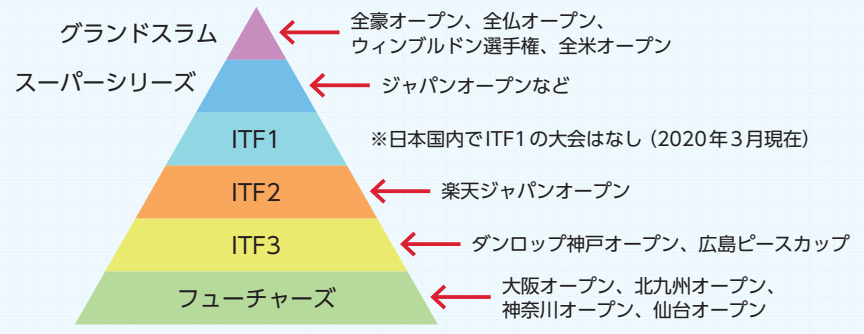
さまざまな車いすテニスの大会

近年、日本選手の活躍で海外のテニスの試合の様子がニュースなどで取り上げられることが多くなりました。そのなかで「四大大会」や「グランドスラム」というワードを耳にする機会が増えたはずです。四大大会、グランドスラムとは、国際テニス連盟 (ITF) が定めた世界で最も規模が大きく権威のある4つの国際トーナメント大会のことを指します。世界が注目するこの大会ですが、これらの大会にはいずれも「車いすの部」が設けられているのをご存知でしょうか。同じ大会の中で、車いす選手も熱い戦いを繰り広げ、大会の盛り上がりに一役買っているのです。特に、昨今は国枝慎吾選手や上地結衣選手がグランドスラムの大会で優勝することも多く、日本選手の活躍が世界にインパクトを与えています。

また、ITFが定めた各グレードの

大会は、日本国内でも数多く開催されています。グランドスラムの一つ下のグレードであるスーパーシリーズの大会として「JAPAN OPEN」が毎年福岡県飯塚市で開催されています。ITF2や3、フューチャーズの大会も開催されていて、ITF公認大会以外にも国内のローカルで日本車いすテニス協会が公認する大会、ジュニアを対象にした大会などもあり、全国各地で車いすテニスは行われているのです。

世界における日本選手の活躍で「車いすテニスをやってみたい!」と思う子どもたちも多く、ジュニア大会から始まり、徐々に大会のグレードを上げて世界を目指していく流れが出来上がっているのです。多くの大会が開催されていることは、車いすテニスの人気の高さを物語っているとも言えるでしょう。



もっと車いすテニスを知りたい!

JAPAN OPEN

福岡県飯塚市で毎年開催されていて、1985年に始まった国内でも歴史のある大会。ITF (国際テニス連盟) が公認する大会の中で、グランドスラムに次ぐグレードであるスーパーシリーズの大会で、世界のトップ選手が集結します。



全日本選抜車いすテニスマスターズ

JWTA (日本車いすテニス協会) ランキングの上位選手の中で、男女8選手ずつ、クアードは4選手のみが出場できる大会です。



その他の大会

ITF公認大会や国内のローカル大会など、多くの大会が開催されていますが、近年は将来を担う若手選手を育成するため、JWTA公認のジュニア大会も開催

されています。また18歳以下のジュニアを対象としたランキング制度が設置されるなど、未来の車いすテニス界を担う若手の発掘・育成の場が広がっています。